



「届けよう看護の声を！  
私たちの未来へ」

## 会長あいさつ

新型コロナウイルス第3波の感染者数の下げ止まりが続く中、変異ウイルスの感染動向が気にかかるこの頃です。一年以上も続くコロナ感染症患者への対応に日々ご尽力いただいている会員の皆様に心より感謝申し上げます。

2月5日～26日の間「第3波に伴う現場の声」アンケート調査を実施いたしました。日々超ご多忙な状況の中にも関わらず、1025名の方から貴重な「現場の声」を届けていただきました。現在集計中ですが、マンパワー不足と潜在看護師の活用、ウイルスに対する不安・恐怖・ストレス、PPE不足、慰労金の再給付など多岐にわたる課題や要望を頂きました。これらの声は看護職代表議員、自民党が取り組むべき政策についての意見として日本看護連盟に提供いたしました。また、兵庫県看護連盟ホームページにもアップさせていただきます。ぜひご一読いただければ幸いです（裏面のQRコードよりご覧下さい）。  
看護の力で社会を元気にそして明るく!! “今”持てる力を結集しましょう!!



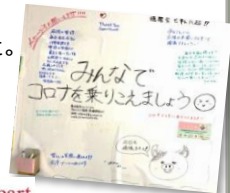
兵庫県看護連盟  
会長 春江 ハル子

## コロナ禍の今!! 体験者が語る

### 東加古川病院にNPOが看護師派遣

東加古川病院（精神科425床）は昨年12月21日、入院患者から新型コロナウイルス感染者のクラスターが発生した。発生と同時に夜勤専従看護師や個人の理由で出勤を控えた職員が計50名程いなくなった上に職員の感染拡大もあり、残った職員は過酷な勤務が続き疲弊していた。

当時、看護部長は「精神科病院で感染患者をコロナ拠点病院に転院させることは難しく、自病院で感染対策を強化しながら乗り切るしかない」と考えていた。同時に県や看護連盟に相談し情報をもらった。国際的な医療支援活動を行っている「認定NPO法人・ジャパンハート」を紹介され、過去に導入経験のある「武蔵野中央病院」から情報を得た。「ジャパンハート」からの派遣依頼を決断、12月31日から翌年2月25日まで受けた。人員不足で過酷な勤務状況で共倒れにならないかと危惧しつつ、ジャパンハートの応援スタッフから「絶対収束させる」という強い言葉に支えられた。「ジャパンハートから派遣された看護師たちは過酷な現場を体験していた。当院の看護師たちは刺激を受け、支援に感謝しながらこの状況を乗り越えたい」と一丸となって取り組んだ。「3月1日、収束宣言」を発することができた。



Japan Heart  
(ジャパンハートHP活動レポートより↑)

### コロナウイルス感染患者の入院体験 ~病院職員の負担痛感・感謝してもしきれない~

加古川市在住の前川真一郎さんに闘病体験を伺った。昨年11月12日、39度の発熱、倦怠感、関節痛等が出現した。会食をした仲間の1人の感染を聞いていたのでコロナを疑い、保健センターに電話相談したところ当日検査ができず、翌日13時頃にPCR検査を受け16時過ぎに陽性の連絡があった。自分で車を運転して入院した。風評被害による仕事への影響や、差別を受けるのではないかと頭をよぎり不安だった。家族は濃厚接触を避け自宅外に避難した。

#### 【入院から退院までの経過】

感染症病棟に入院した当時は症状も軽く、身の周りのことも自分で行き、看護師とはナースコールでやりとりし接触はほとんどなかった。しかし、1週間後、症状が進行し食欲低下や40℃近い高熱に悩まされた。呼吸状態も悪化しO<sub>2</sub>吸入をうけたが呼吸が浅くなり「陸で溺れるような感じ」でパニックに陥り過呼吸になった。SPO<sub>2</sub>が80%台に低下した時点でICUに転棟した。「これがニュースで聞いた症状で、今後どうなっていくんだろう」と思うと怖さや不安が募った。家族の心配や不安に対してはLINEで経過を報告し、現状を動画で送った。約3週間で無事退院することができた。

#### 【入院中の医療従事者に対して感じたことは】

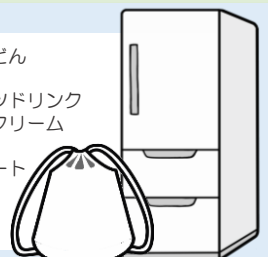
多忙な中でも、看護師さんたちの何気ない冗談交じりの声掛けや「我がまま言ってもいいんよ」と言ってくれた言葉が嬉しかった。転棟するとき「早く帰ってきてね」「お帰り」などの言葉がとても心にしみた。また、病室の外から誕生日にサプライズで「ハッピーバースデー♪」を合唱しお祝いしてくれた事は忙しい中での看護師さん達の心遣いが嬉しく回復への意欲が強くなった。「医師はもちろん最前線で自分の生活を犠牲にしても患者に向き合い激務に当たっている看護師さん達には感謝してもしきれない」と話された。

### 一人暮らしの看護師 ~発熱外来体験を通じて~

朝起きると熱がありそう。測ると37.8℃であった。師長に電話し、相談。近くの発熱外来受診を勧められ、電話したが断られた。健康センターに電話すると、濃厚接触者でないからと、断られた病院へもう一度かけるようにと言われた。内容を説明すると、渋々といった様子で、PCR検査を受けることができた。結果は陰性。1人暮らし、不安が募った。今回の経験で役に立ったのは、風邪を引いた時にと用意してお粥とスポーツドリンクであった。

知恵袋  
発見!

- 冷凍うどん
- お粥
- スポーツドリンク
- アイスクリーム
- ゼリー
- 冷却シート
- マスク
- 解熱剤
- 体温計



# 新型コロナウイルスワクチン接種施設の状況

2月17日から始まった新型コロナウイルスワクチンの兵庫県内の医療従事者への先行接種は、4箇所の医療機関で実施される。これらの施設は、ワクチンの到着次第接種を開始する準備を進めていた。当該施設2施設の話を知ることができた。

## ●関西労災病院（尼崎市）（642床の総合病院・看護部18部署）

まず、看護師への接種を先行とし、希望を募った。2月22日から1日24人ずつ毎日接種している。この先行接種を経て、優先接種に移行する予定である。3月11日までに288人の対象者への接種を完了する予定である。看護部副部長が発熱や未知の副反応の発生を考慮し、日々の接種対象者を各部署からランダムに少人数を選出し実施している。2月末現在で副反応は報告されていない。



## ●西播磨地区のA病院

新型コロナ感染者の受入れ施設であることから、高い優先順位で接種を開始できると予定していたが、2月末時点でワクチンが到着しないため、具体的な日程を決めることができなかった。職員のほぼ全員が接種を希望している。しかし、供給される数量が限定されるため、希望者全てへの接種ができないため、院内での優先順位を検討して準備に当たっている。

3月中旬から1回目が始まり4月初旬に2回目接種となる。副反応を考慮し、夜勤明けや日勤後休みの人への接種を優先している。そのために勤務表の作成が大変である。

## 令和3年度通常総会のお知らせ

### 日本看護連盟通常総会

日付：令和3年6月16日（水）  
会場：東京プリンスホテル

### 兵庫県看護連盟 60周年記念講演・通常総会

日付：令和3年6月19日（土）  
会場：ANAクラウンプラザホテル神戸

## 癒しのコーナー ～メダカのお嫁いり～

2年前に看護連盟で育て始めた7匹のメダカが150匹に増えました。連盟事務所の引っ越しの際にメダカも会員宅・病院など8カ所に引っ越ししました。病棟では仕事に疲れた後、メダカをみて癒されて帰りますとスタッフ。リハビリしながら、メダカを見に来られる患者様。生きてる小さな命をみて、私たちが励まされています。新型コロナウイルスの影響で色々な事が変わる中、命を守り育てる心を育てていきたいと思ひます。



看護連盟事務所



北播・山本宅



但馬・竹中宅



佐野病院のナースステーション

## 東洋羽毛関西販売株式会社 神戸営業所 TEL：0120-360420

### 東洋羽毛グッズ



タッチペン(ボールペン付き)・ビニールバッグ



TUK



かたくなに、ひたむきに、誇りを持って  
東洋羽毛は、精毛から縫製、仕上げの  
すべての工程において国内自社工場の  
「日本製」であることを守り続けます。

### 編集後記

新型コロナウイルスで現場は大変な状況だと思います。今回のNEWS Hyogoは、コロナの影響で  
大変な思いをされた方々の体験や情報を身近に感じていただけるよう編集しました。

各支部の特色を活かした内容が連盟会員に伝われば幸いです。

今後、地区の活動や地域の写真を掲載していきたいと思ひますので下記アドレスへご応募ください。

e-mail：renmei-h@ceres.ocn.ne.jp

(編集委員：仁木・平川・山本・竹中・桐月)

